

芸術文化出前教室 実施メニュー



1. 美術(水彩画)
2. 吹奏楽
3. 合唱
4. 洋舞踊
5. 日本舞踊
6. 文芸(俳句)
7. 文芸(川柳)
8. 文芸(短歌)
9. 能楽
10. 社交ダンス
11. 人形劇
12. 民謡
13. 三曲
14. 太鼓
15. 茶道
16. 華道
17. 古武道(流鏝馬)
18. 古武道(合気道)
19. 古武道(居合道)





1. 美術(水彩画)

実施団体

(一社)青森県文化振興会議
県展企画運営委員会

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

1人

実施内容

- ①講師の準備 ……10分
- ②鉛筆によるグラデーションの基本的な陰影表現
について理解 ……30分
- ③基本形による陰影表現 ……20分
(児童・生徒実技)
- ④デッサンの基本について振り返る ……10分

場所

教室

児童・生徒
が準備する
もの

鉛筆・定規

特記事項

- ・材料は学校及び個人の用具使用により0円。
- ・出前教室2回実施が効果が高い。
2回目は線遠近法について実施予定。



2. 吹奏楽

実施団体

青森県吹奏楽連盟

対象

小学生、中学生

指導者数

50人程度

実施内容

- ① 高校生による演奏会 (10曲程度)・・・40分～90分
(時間に合わせて曲数を調整可)
- ② 楽器紹介など

場所

体育館

学校等が
準備する
もの

楽団員の椅子

特記事項

・子どもたちのほかに父兄や地域住民も鑑賞可能

【曲目例】

- ・ JOYRIDE
- ・ They solemnly served
- ・ セプテンバー
- ・ カルメン
- ・ A Disney Celebration
- ・ 交響的ファンタジー ハウルの動く城
- ・ スピリテッド・アウェイ《千と千尋の神隠し》
- ・ Mr.インクレディブル
- ・ アイドル
- ・ 新時代



3. 合唱

実施団体

青森県合唱連盟

対象

小学生、中学生

実施内容

ご希望に合わせて調整します。

- ①合唱の演奏 …… 1時間～2時間
- ②青森県合唱連盟役員による合唱指導 …… 1時間～2時間

【実施事例】

八戸市立白銀南中学校合唱部による合唱の鑑賞
(八戸市内の小学校において実施)





4. 洋舞踊

実施団体

青森県洋舞連盟

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

3人程度

実施内容

1回目……1時間程度

クラシック、モダン、ジャズダンス、リズムダンス、ストレッチを取り入れたもの

2回目

1回目の内容を更に発展させ変化をつけ、身体表現の喜びを高める

学校等及び
児童・生徒
が準備する
もの

【学校等】

- ・音響装置（CD、MDが使用可能な機器）
- ・マイク1本
- ※CD、MDは指導者が準備

【児童・生徒】

- ・タオル1本

特記事項

- ・【受講者数】人数制限は特に無し
- ・12月～3月については、原則実施不可



5. 日本舞踊

実施団体

(公社)日本舞踊協会
青森県支部

対象

小学生、中学生

指導者数

4人程度

実施内容

1回目……………1時間程度

- ①衣装の着付体験
- ②三味線の演奏に合わせて、舞を学ぶ
(曲目は実施学年、人数により決定)
- ③立ち座り、お辞儀など日本舞踊の基礎を学ぶ
- ④動きの体験

2回目……………1時間程度

- ①立ち座りなどの1回目の復習

場所

体育館

学校等が
準備する
もの

カセットプレーヤー、ピンマイク等の音響機器
※音楽、扇子、小道具は指導者が準備

特記事項

- ・【実施事例】学習発表会(学芸会)の本番に向けて本格的な衣装・小道具をそろえて着付けし、小道具を持たせて発表に協力。
- ・希望に応じた内容に調整可能。



6. 文芸(俳句)

実施団体

青森県俳句懇話会

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

1回につき1人程度。希望学校の近くの結社でのリーダーや指導経験者を選任・派遣。

実施内容

- ①俳句の基礎学習
 - ②実作(吟行または席題による句会を開催)
 - ③互選などの選句及び講評会(発表)
 - ④作品集作成
- ※3回位の学習時間が欲しいが学校の希望に応じて回数は調整可能

場所

特に指定なし(教室や校内で机、イス、黒板(ホワイトボード)等が使用できる場所)

学校等及び
児童・生徒
が準備する
もの

【学校等】

- ・基礎学習でのテキストを指導者が提示するので、受講者数分を用意してほしい。
- ・句箋(短冊：西洋紙等を細長く切ったもの)、児童・生徒の作品集(コピー)、会場が広い場合はマイク等の放送設備。

【児童・生徒】

- ・筆記用具、辞書

特記事項

【受講者数】20~30人程度が望ましいが、それ以上でも適宜対応する。



7. 文芸(川柳)

実施団体

青森県川柳連盟

対象

小学生、中学生、高校生、一般成人

指導者数

1回につき1人程度

実施内容

- ①川柳の基礎学習……………1回40分程度
- ②実作
- ③評価(発表)
- ④作品集作成

場所

特に指定なし
(机、イス、黒板(ホワイトボード)を使用したい)

学校等及び
児童・生徒
が準備する
もの

【学校等】

- ・テキストのコピーをお願いする場合がある。
- ・会場が広い場合はマイク等の放送設備が必要となる。

【児童・生徒】

- ・筆記用具、辞書

特記事項

- ・【受講者数】50人程度までが望ましい。
- ・川柳等1部門の複数回実施を希望する場合は、2回目以降は実作・評価となる。



8. 文芸(短歌)

実施団体

青森県歌人懇話会

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

1回につき1人程度

実施内容

- ①俳句、川柳、短歌(それぞれ1回、計3回)の基礎学習
- ②実作
- ③評価(発表)
- ④作品集作成

場所

特に指定なし
(机、イス、黒板(ホワイトボード)を使用したい)

学校等及び
児童・生徒
が準備する
もの

【学校等】

- ・句箋(短冊：西洋紙等を細長く切ったもの)、児童・生徒の作品集(コピー)
- ・会場が広い場合はマイク等の放送設備

【児童・生徒】

- ・筆記用具、辞書

特記事項

- ・【受講者数】50人程度までが望ましい。
- ・川柳等1部門の複数回実施を希望する場合は、2回目以降は実作・評価となる。



9. 能楽

実施団体

青森謡曲狂言の会
・青森春耀会

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

7人程度

実施内容

【テーマ】能楽を知り、能楽を楽しむ

①「能ってなあに？」

パワーポイントを使って能の説明……15分

②「やってみよう」

仕舞・謡曲・和楽器の体験ワークショップ
……………60分

③「見てみよう」

仕舞・囃子の実演 ……………15分

※学校の希望に応じて調整可能

場所

体育館など広い場所

学校等が
準備する
もの

資料のコピー、プロジェクター、スクリーン
※テキスト、扇、楽器、パソコン(パワーポ
イント)は指導者が準備

特記事項

- ・前準備(着替えやセッティング)に約1時間必要。
- ・先生方の参加も歓迎します。



10. 社交ダンス

実施団体

(一社)

青森県社交ダンス教師協会

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

1回あたり2人

実施内容

1回目

- ・指導者によるスタンダード系(ワルツ、タンゴ、フォックストロット他)とラテン系(ルンバ、サンバ、チャチャチャ他)の披露
- ・小・中学生・・・ジルバ、ワルツ、タンゴの指導
高校生・・・ワルツ、タンゴ、ルンバの指導

2回目

- ・小・中学生・・・ワルツ、タンゴの指導
- ・高校生・・・タンゴ、ルンバの指導

1. シャドーダンス(単独)での足型、リズム、ムーブメント(動き)を習得する。
2. 男女でカップルを組み、1組としてダンスを練習、パートナーを種目ごとに変えて、誰とでもダンスができる運動感覚を身につける。

3回目

- ・小学生・中学生にはタンゴの指導
- ・高校生にはルンバの指導
- ・子どもたちによる披露
 - 種目ごとに3～4組が披露
 - 種目ごとにパートナーを変える
 - 他の子どもたちは見学
- ・指導者による講評

【目安時間】

- ・ 1コマ 60分
 - ①講習内容の説明 …… 5分
 - ②講師実演 …… 5分
 - ③練習 ……35分
 - ④発表及び講評 ……10分
 - ⑤講師による模範デモンストレーション ……5分

場所

30名を超える場合は体育館

学校等及び 児童・生徒 が準備する もの

【学校等】

テキスト、資料等のコピー

※資料、CD、音響機器は指導者が準備

【児童・生徒】

普段着または運動着、運動靴

特記事項

回数、時間、内容の変更可



11. 人形劇

実施団体

青森県人形劇連絡協議会

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

4人

実施内容

- ①準備 ……30分
- ②講師実演 ……30分
- ③児童・生徒練習 ……60分
- ④児童・生徒実演発表 ……30分

場所

特に指定なし

学校等が
準備する
もの

特になし

特記事項

土日開催が望ましい



12. 民謡

実施団体

(公財)日本民謡協会
青森県連合会

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

4人

実施内容

1回目

①鑑賞会

②民謡に関する基礎的知識の説明等

2回目

①発声法、立ち方等

②三味線、太鼓、尺八、鈴等の説明

3回目

①子どもたちによる発表会

②指導者からの感想・講評

※1～3回目まで3時間程度

※学校の希望に応じて調整可能

場所

特に指定なし

学校等が
準備する
もの

歌詞カードのコピー
(2回目の実施の際に必要)

特記事項

先生を対象とした講習や、三味線等の指導も可能



13. 三曲

実施団体

青森県三曲協会

対象

小学生、中学生、高校生

1

指導者数

- ① 4人（箏2人、十七絃1人、尺八1人）
- ② 4人（箏2人、尺八2人）
- ③ 4人（箏2人、尺八2人）

実施内容

- ① 古曲、新曲の3曲程度の披露
- ② 箏、尺八の音の出し方の指導
- ③ 箏、尺八の音の出し方を指導し、子どもたちが発表する。

場所

体育館または音楽室

学校等が
準備する
もの

テキスト、資料等のコピー
※テキスト、資料等は指導者が準備

特記事項

- ・【受講者数】
30名程度まで
- ・【受講者負担】
楽器の賃借料として1回あたり20,000円程度
※冬期間や、夕暮れ時に移動が予想される時間帯は避けて欲しい。

2

指導者数 4人（箏2人、十七絃1人、尺八1人）

実施内容 古曲、新曲の3曲程度の披露

場所 体育館または音楽室

学校等が準備するもの テキスト、資料等のコピー
※テキスト、資料等は指導者が準備

特記事項

- ・演奏者数、曲数とも依頼校と相談します。
 - ・【受講者数】 特になし
- ※依頼校と協議して内容を決めます。



14. 太鼓

実施団体

青森県太鼓連盟

対象

小学生、中学生

指導者数

1～2人

実施内容

1回目

- ①太鼓の歴史や仕組みの解説
- ②バチの持ち方や構え方の練習
- ③簡単なリズムの練習

2回目

- ①前回の復習
- ②発表曲の練習

3回目

- ①前回の復習
- ②発表の仕方練習
- ③成果発表

場所

体育館

学校等が
準備する
もの

- ・ホワイトボード、マグネット、水性マジック
- ・譜面のコピー

特記事項

- ・【受講者数】20名程度まで
- ・太鼓等の賃借料として1回あたり20,000円程度



15. 茶道

実施団体

武者小路千家
花と水芸術学院

対象

小学生、中学生、高校生、児童館

指導者数

4～7人

実施内容

- 1 講師事前準備 ……60分
- 2 説明とデモンストレーション……10分
 - ①伝統文化「茶の湯」に関して簡単な説明（おもてなしの心など）
 - ②作法を学ぶ（あいさつの仕方、お茶・お菓子の頂き方など）
 - ③客点前を体験
- 3 茶会形式 ……40分
 - ①作法（お運び、歩き方など）を学ぶ
 - ②参加者に「お客」と「迎える側」のグループに分かれ、お茶を点てる等、各々の作法を学び、体験する。
 - ③風炉、炉点前の茶会形式を体験する。

場所

教室等(状況に応じる(例：野点))

学校等が
準備する
もの

実施内容により準備品が変わるため、事前打ち合わせにより決める。

学校等にある用具は活用する。

基本物品：抹茶、茶わん、茶筌、お湯、お菓子
懐紙、盆等

特記事項

・【受講者数】

30名程度まで

・【受講者負担】

お茶、お菓子代として1回あたり1人200円
程度

※ご希望に合わせて回数を調整します

※茶道具運搬の都合上、4月～11月までの実施

※衛生面を確保の上実施



16. 華道

実施団体 (一財)小原流青森県支部

対象

小学生、中学生、高校生

指導者数

1～3人

実施内容

- ①「家庭の器を使って楽しいいけばな」
グラス、コーヒーカップ、マグカップにいける。
……………1時間程度
- ②「花器にいけるかんたんないけばな」
初めていけばなをする人にもいけやすいように
考えられた「かたち」を学びます。
……………1時間程度

児童・生徒
が準備する
もの

グラス、コーヒーカップ、マグカップなど
家庭にある雑器

※ハサミは指導者から借用可(要相談)

〈青森市内の場合のみ〉

花器、花留、ハサミを指導者が準備します。

特記事項

- ・【受講者数】30名程度
- ・【受講者負担】花材費500円～1,000円
(予算と内容で変動、相談の上決定)



17. 古武道(流鏝馬)

実施団体

八戸藩加賀美流
流鏝馬再興会

対象

小学校5,6学年、中学生、高校生

実施内容

- ①講話—歴史的案内(資料は事前に届ける) ……10分
- ②武具、馬具等用具の名称と用途 ……10分
- ③示範演舞(木馬騎射) ……10分
- ④体験(稽古) 代表生徒9名、教員1名 ……30分

(演武) 的に「願」

(3つの的にそれぞれに願掛けし、矢が命中すると願いが叶うとされる神事)

……30分

時間 90分

特記事項

・【見学の陣形について】

体育館等の広い会場に集合する場合、ステージや前側で演武すれば、後方が演武の木馬から離れすぎて、よく見えないため、演武を中心に円陣で囲むような陣形が最適かと思えます。

・【安全対策について】

矢は弓道で使用されるような鉄製の矢尻のついたものではなく、流鏝馬専用の木製の鏝矢です。

的に後ろにネットを張り、的に外しても流れ矢をネットが防ぎますので、見学者に直接危害を及ぼすことはありません。



18. 古武道(合気道)

実施団体

合気道八戸道場

対象

小学生5,6年生、中学生、高校生

指導者数

3人

実施内容

- ①準備体操……………20分
- ②基本動作……………30分
- ③実技練習……………40分
- ④発表……………30分

特記事項

畳か体操マットが必要です。

★合気道とは

1.合気道の特性

武道には勝敗を競う試合が存在するが、合気道は勝ち負けや強弱を競う試合はおこなわない。稽古の目的が試合に勝つ、相手に勝つことにあるのではなく、稽古を通じて自分自身の在り方を深く掘り下げ、また相手との関係性を深め、技の理合を正しく求めていくことにある。相手に勝つことより、自分自身を鍛え、磨き、心身を高めていくことを重視している。

2.子どもが合気道を学ぶ意義

合気道は技や受身を行うことにより全身を使い、その子の身体を自然に強くしていく。また、稽古を継続することにより、忍耐力もつき、精神的に鍛えられていくことにもつながっていく。



19. 古武道(居合道)

実施団体

青森県居合道連盟

対象

中学生、高校生

指導者数

2～4名(受講者数に応じて対応する)

実施内容

- ・居合道の概要を理解し、日本刀(模擬刀(居合刀と称する))の操法を学び、実際に技を体験することにより、武士道精神に触れる。

・(実施要領)

- ① 準備・概要説明(準備体操を含む)・・・5～10分
- ② 日本刀(居合刀)の取り扱い説明・・・5～10分
- ③ 実技(技の体験)・・・20～25分
- ④ 模範演武展示・・・5～10分
- ⑤ 体験感想発表・・・5～10分
- ⑥ 片付け・整理作業・・・5～10分

トータル 60分以内

学校等
児童・生徒
が準備する
もの

- ・稽古衣、袴(剣道着可)なければ運動着及び角帯(なければ柔道着用で代用)
- ・木刀(受講者多数で居合刀が不足の場合の代用)
※居合刀7本は指導者が準備可能

特記事項

・【受講者数】

10名程度が望ましい(居合刀の数による)

ただし、実技を伴わない受講等については、特に制限しない。

・【受講者負担】

会場使用料(学校以外の施設借用の場合)